

令和元年度進捗評価シート
恵那市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成30年3月26日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1）		
1 計画実現のための体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）		
1 重要伝統的建造物群保存地区での取り組み	2
2 景観形成に関する取り組みについて	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）		
1 岩村城石垣修理事業	4
2 岩村城下町まちなみ保存事業	5
3 岩村城登城道整備事業	6
4 祭礼復興事業（武並宮御祭礼規定に基づく祭礼）	7
5 歴史的町並み修景整備助成事業	8
6 ポケットパーク整備事業	9
7 中山道保存修景整備事業	10
8 ふるさと文化普及継承事業	11
9 明治天皇大井行在所整備事業	12
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）		
1 文化財の防災	13
2 文化財の普及・啓発	14
⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）		
1 （報道等タイトル名）	15
⑥その他（効果等）（様式1-6）		
1 歴史・文化に対する住民意識の向上	16

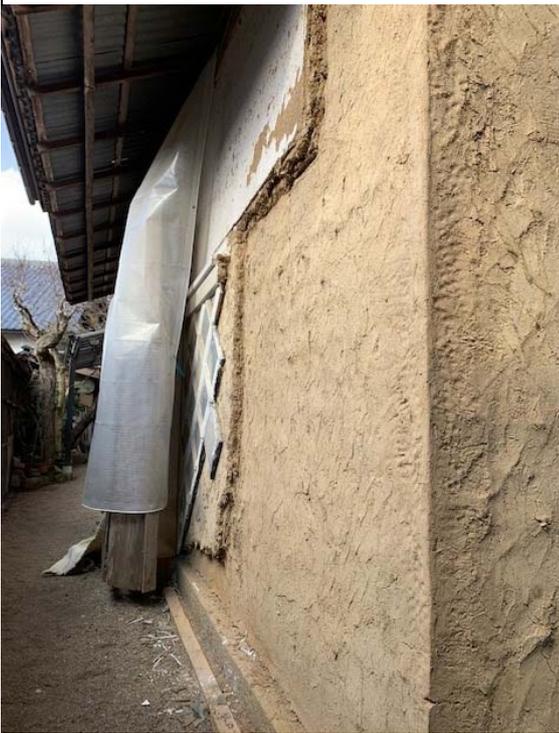
□法定協議会等におけるコメントシート（様式2）	17
-------------------------	-------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目		令和元年度 現在の状況	
計画実現のための体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐に渡る分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
都市住宅課・生涯学習課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間の連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会を令和元年8月26日、令和元年12月10日及び令和2年1月28日に開催し、第二期計画及び最終評価等について意見聴取及び協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>■恵那市歴史的風致維持向上計画協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年8月26日開催 審議事項 恵那市歴史的風致維持向上計画 第一期計画最終評価について ○令和元年12月10日開催 審議事項 恵那市歴史的風致維持向上計画 第二期計画について ○令和2年1月28日開催 審議事項 恵那市歴史的風致維持向上計画 第一期計画最終評価について 			
		歴史的風致維持向上計画協議会	

**評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策**

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区での取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区に選定(平成10年4月)されている岩村町の商家町について、歴史資源として積極的に保存や活用を行ってきた。 岩村町全体のまちづくりに関わる組織である「城下町ホットいわむら」は、本町通りにおけるさまざまなイベントの企画・実施を行っている。		
定性的・定量的評価 (自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存地区内の建物で現状変更を行うときには、保存計画に定める方針・基準に従い、岩村城下町まちなみ保存事業を活用しながら実施している。また必要に応じて文化庁及び県環境生活部文化伝承課の指導、助言を受けている。令和元年度は4件の修理補助を実施し、歴史的建造物の保存整備を図り、昔の町屋の景観を維持することができた。 【事業費:14,965千円 補助額:7,482千円(4件分) 工期:4月から3月まで】			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針 (自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



土蔵修理前



土蔵修理後

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
景観形成に関する取組について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則は平成24年4月1日に施行済みである。景観計画区域内行為の届出に関するこの規定は、平成24年10月1日から施行している。

令和元年度は、52件の事前協議と、40件の景観計画区域内行為の届け出があった。（令和2年3月31日現在）これらの規制誘導により、歴史的風致を維持することができている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画区域内の行為の制限

(1) 建築物の建築等/工作物の建設等

区分	基準の内容												
配置 形態・意匠 材質	○主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しない配置とする。 ○周囲の自然景観や集落景観、町並み、田園等と調和するような配置、形態意匠とする。												
	○壁面の規模が大きな建築物・工作物は、威圧感や圧迫感を低減させるよう形態意匠を工夫する。また大面積に具象な絵柄や必然性のないデザイン、華美な装飾を施さないようにする。												
高さ	○光沢のある材料や反射光の生じる素材を大部分にわたって使用することは避ける。												
	○建築物および工作物の高さの制限は以下のとおりとする。（ただし市長が認めるものはこの限りでない） ○ただし、以下の基準内の高さであっても、主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しないようにする。 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <td>用途地域内</td> <td>25m以下（7～8階相当）</td> </tr> <tr> <td>用途地域外</td> <td>15m以下（4～5階相当）</td> </tr> </table>	用途地域内	25m以下（7～8階相当）	用途地域外	15m以下（4～5階相当）								
用途地域内	25m以下（7～8階相当）												
用途地域外	15m以下（4～5階相当）												
色彩	○素材の持つ自然色を生かし、彩度、明度の高い色彩を基調色として用いないようにする。また農村地域においては、周辺の農地や自然景観に調和した色調とする。												
	○外観の色彩は以下のとおりとする。ただし、着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩、見付面積の1/10未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分の色彩についてはこの限りでない。 ○使用する色数はできる限り少なくし、複数の色を使用する場合は、色の三属性（色相、明度、彩度）の対比が強くないよう配慮する。 ○マンセル表色系※による色彩の基準は以下のとおり。 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R(赤)、Y(黄)</td> <td>4.0以下</td> <td rowspan="3">制限なし</td> </tr> <tr> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> </tr> <tr> <td>GY(黄緑)～RP(赤紫)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>N(無彩色)</td> <td>制限なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	色相	彩度	明度	R(赤)、Y(黄)	4.0以下	制限なし	YR(黄赤)	6.0以下	GY(黄緑)～RP(赤紫)	2.0以下	N(無彩色)	制限なし
色相	彩度	明度											
R(赤)、Y(黄)	4.0以下	制限なし											
YR(黄赤)	6.0以下												
GY(黄緑)～RP(赤紫)	2.0以下												
N(無彩色)	制限なし												

※マンセル表色系：どのような色（色相）が、どれくらいの鮮やかさ（彩度）で、かつ、どれくらいの明るさ（明度）で使用されているかを表現する数値

(2) 開発行為/土石の採取等における土地の形質の変更

基準の内容
○造成は必要最小限とし、既存の地形・樹木などの自然条件を活かすことで、景観上の違和感を生じさせないようにする。
○現況の地形を可能な限り活かし、長大なり面や擁壁が生じないようにする。長大な擁壁やのり面が生じる場合は、前面を緑化するなど周囲の景観と馴染ませるよう努める。
○擁壁については高さを極力抑える。
○土石の採取等については、景観体験軸に設定した道路・鉄道等から容易に望見できないよう掘削位置及び方法を工夫する。
○土石の採取後は、地域の自然植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努める。

(3) 屋外における土砂・廃棄物・再生資源その他の物件の堆積

基準の内容
○景観体験軸に設定した道路・鉄道等から望見できる範囲においては、長期に渡り土砂、廃棄物、再生資源等の堆積は行わない。
○堆積を行う場合は、景観体験軸に設定した道路・鉄道等から堆積物が見えないよう配置を工夫する。それが困難な場合は、植栽や塀を設ける、積み上げ高さを低く抑える等の配慮を行う。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
岩村城石垣修理事業			
事業期間	平成23年度～令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。 本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を物語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、地域のボランティアによる草刈り・清掃作業の際に、石垣に生えた雑草等の除去を5月13日、7月27日に実施し、地域の歴史的風致の維持を図った。 岩村城跡保存整備構想を作成し、石垣整備の指針を平成31年3月にまとめ、石垣保護のための枯死木伐採を行い文化財保護の方針を強化できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	2期計画でも引き続き事業を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
ボランティアによる石垣清掃の様子			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
岩村城下町まちなみ保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成22年度～令和元年度
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金 市単独事業

計画に記載している内容
 重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護すること、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要:重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物群保存地区内の建物4件の修理修景に助成を行い、歴史的建造物の保護による歴史的風致の維持向上を図った。

主な家屋修理内容：土蔵の外壁・扉・屋根の修理し、江戸から明治期の町屋の景観を維持できている。

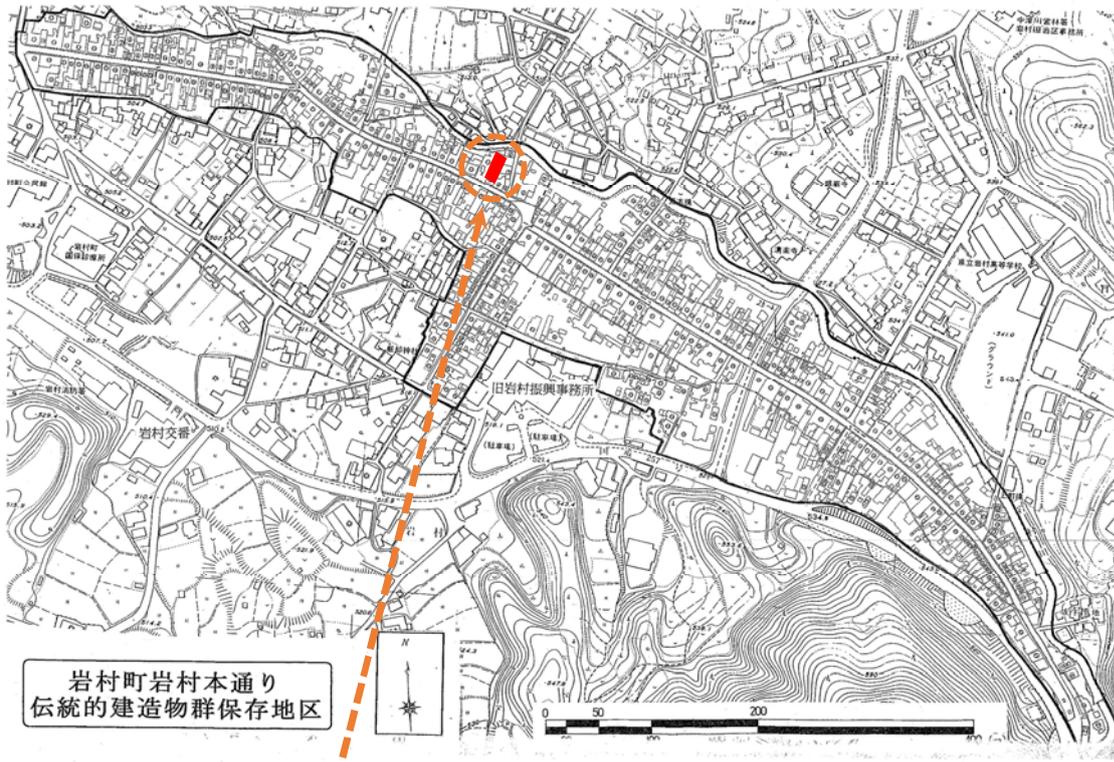
【事業費:14,965千円 補助額:7,482千円(4件分) 工期:4月から3月まで】

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

2期計画でも引き続き事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



岩村町岩村本通り
伝統的建造物群保存地区



修理事例(修理前)



修理事例(修理後)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
岩村城登城道整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和元年度		
支援事業名	主要観光資源誘客強化事業 市単独事業		
計画に記載している内容	・岩村城への登城道及び付近の修景整備 ・案内標識の設置 ・ベンチの設置等		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
地域のボランティアによる、登城道周辺の草刈・清掃作業に対して、清掃費用の助成を行った。 令和元年度は、地域のボランティア作業を5月13日、7月27日に行った。 岩村城跡保存整備構想を平成31年3月にまとめ、今後の登城道整備の基本方針を定めた。定期的な清掃や伐採を通して観光客の利便性を向上させることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		2期計画でも引き続き事業を実施していく。	

状況を示す写真や資料等



草刈・清掃作業の様子

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～令和元年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 毎年10月第1週の土曜日から日曜日にかけて行なわれる「岩村町秋祭行事」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝の御神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)から父景廉が祀られている八幡神社に運ぶ渡御である。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第からほぼ変化しておらず、天保の頃の道具が使用されているので傷みも生じている。必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。
 事業概要: 岩村町秋祭行事の祭礼衣装等の整備。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岩村町秋祭行事に使用する祭具・衣装については、修理・交換と不足分の補充を行った。また岩村町秋祭行事の行事運営について助成を行った。これにより、祭礼行事の歴史的風致の向上を図った。このため風光明媚な往時の行列を今も堪能することができる。

【助成額: 897千円】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	2期計画でも引き続き事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



神輿渡御の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的町並み修景整備助成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	中山道の宿場町としての面影を残す大井宿周辺の建造物等について、所有者等が行う修復・修景事業の一部を助成し、町並み景観の向上を図り、連続性を向上させ歴史的風致の維持及び向上に寄与する。 事業概要：宿場町大井地区内の大井宿周辺の建造物等について、平成24年度に建造物の悉皆調査とガイドラインの作成を行う。建造物等の修復・修景事業を実施するため、地域と調整し、事業を推進する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
明治天皇大井行在所の修景・改修については、施設の運営母体を地域住民を中心としたNPO法人としていたが、運営費用の課題等により法人設立を断念した。その後、地域において、施設を活用する新団体が平成30年12月17日に設立した。庁内関係部署と協議を行い、明治天皇大井行在所の修復・修景と併せ、検討を行った。			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		明治天皇大井行在所の改修やポケットパークの整備と併せ、地元地域と協議を進め、地域のニーズを把握する。	

状況を示す写真や資料等



改修工事中である明治天皇大井行在所



新団体による検討会議の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目		ポケットパーク整備事業	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成27年度、令和元年度以降		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	宿場町大井地区内の中山道沿道で空き地となっている土地を取得し、ポケットパークとして整備する。このことにより、町並みの連続性を生み出すとともに、トイレやベンチ、案内板を設置し、来訪者や地域住民の利便性の向上を図る。 事業概要:宿場町大井地区内の中山道沿道で空き地となっている土地を取得し、来訪者や住民にわかりやすい総合案内板や、利便性を向上させるためにベンチやトイレを設置したポケットパークを整備する。また町並みの景観に配慮した植栽等についても検討を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
ポケットパークの整備については、明治天皇大井行在所の整備と併せ、内部検討を進めた。明治天皇大井行在所と一体的な整備とすることとした。明治天皇大井行在所の整備及び運営方針を決定した後、事業実施に向け検討を行う。			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		明治天皇大井行在所の整備方針の検討を進め、一体的な活用を図る。	

状況を示す写真や資料等



整備後の行在所において、活動内容を検討する部会



一体的な整備を検討している明治天皇大井行在所

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目			
中山道保存修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和元年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 恵那市の通る中山道は、46番目の大井宿のあった場所で、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。
 事業概要：中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

地区内の中山道及び沿線の利便施設（甚平坂公園、西行苑、深萱休憩所、四ツ谷集会所）の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の活動に対する助成を行った。また沿道の草刈りなどを実施しこれにより、中山道の環境が整備された。中山道の散策者にも好評を得ている。
 【助成額：279千円（4地区）】

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 2期計画でも引き続き事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等

令和元年度実績
 【中山道岡瀬沢保存会】 甚平坂公園及びトイレの清掃（月2回 延べ168名[7名×24回]）、
 全会員による一斉清掃（1回）
 【武並地区中山道保存会】 地区内中山道の清掃活動（年2回 延べ35名）
 【中山道西行保存会】 西行苑便所及び周辺の清掃（年3回 延べ40名）
 【中山道四ツ谷地区保存会】 四ツ谷集会所トイレ（一般開放）の清掃・管理（週1回）、草刈り清掃（年2回）



障害木の手入れ



沿道の草刈り

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目			
ふるさと文化普及継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。 事業概要:文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもっていたかとともに、後継者の育成に努める。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
中山道大井宿内の中山道ひし屋資料館で筑前琵琶の演奏会、大井栄舞体験を実施し、伝統芸能に触れる機会を創出した。地区内の小学校では、年間を通じた総合学習として地域の伝統芸能(大井文楽)や日本の伝統文化(茶道、琴、太鼓)の体験学習が行われた。これにより、地域住民の歴史文化への関心がさらに高揚した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	2期計画でも引き続き事業を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
令和元年度実績 【中山道のれんコンテスト】11/3～11/23 大井町・長島町の中山道沿い 作品数300点 【筑前琵琶演奏会】 10/15 中山道ひし屋資料館 参加者数92名 【大井芸能フェスタ】 11/10参加者数800名（出演者含む） 【恵那市伝統芸能大会】 2/17 参加者総数1,000名(出演者含む)			
			
恵那市伝統芸能大会:大井文楽			
			
恵那市伝統芸能大会:浅間七福万歳(小学生の児童参加)			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
明治天皇大井行在所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成28年度、令和元年度以降
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業
計画に記載している内容	当行在所は、明治天皇巡幸当時の座敷、風呂場、便所がそのままの姿で保存されていると同時に、宿場町の町家の姿をよく残している。しかしながら増改築により当時の面影が失われつつあるため、本事業により修復・改修する。 現在一般公開を行っているが、今後はそれに加え、住民の活動の場として幅広く活用することで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図る。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(工事のため、平成28年6月から閉館中)
 明治天皇大井行在所の御座所の改修と地域住民の活動の場を創設することを目的として、令和元年度から令和2年度にかけて改修工事及び空家解体工事を行う。令和元年度は行在所の改修工事及び老朽化した空家2棟の取り壊しを行った。令和2年度も引き続き、行在所の改修工事を実施するとともに、長屋門の移設工事を行う。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度も引き続き、行在所主屋改修工事を実施する。

状況を示す写真や資料等

【行在所 離れの解体】
 行在所北側に存在する老朽化した離れ2棟を取り壊し、敷地を有効活用する。

【長屋門移築】
 歴史的価値のある門の主要部材を文化財として保存しながら行在所へ移築し、新たな長屋門として大井宿で一体的に活用する。

明治天皇大井行在所の設計計画



空家解体工事後の明治天皇大井行在所の敷地

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目			
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消火訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知器等の設備の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月3日 2019いわむら城下おかげまつり火災予防パレードを開催(参加者数 130名) ・令和2年1月25日 岩村城下町における子ども夜回り(参加者数 40名) ・令和2年2月1日 国指定重要文化財武並神社防火訓練(参加者数30名) これらを実施したことにより、地域住民の防火・防犯についての意識の高揚が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
国指定重要文化財武並神社防火訓練			
			
子ども夜回り			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の普及・啓発			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。 市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより、文化財保護の普及・啓発に努めた。 郷土の先人について、より多くの市民に知ってもらうため、3箇所先人学習講座を行い、地域住民の偉人についての認識が高まった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

令和元年度に行った主な行事
 5月13日/7月27日 岩村城清掃活動 参加者総数250名
 8月24日 第35回岩村城址薪能 来場者数200名
 10月12日 先人学習講座「山本誠之助」参加者数60名
 11月9日 " 「梅村庄次郎」参加者数27名
 12月7日 " 「橋本幸八郎」参加者数21名
 随時 中山道広重美術館特別企画展 来場者数10,427名(春季3,770名、秋季4,889名、特別展観1,768名)



「山本誠之助」～先人学習講座の様子

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
幽玄誘いわむら城址 薪能国重文保持者ら舞披露	R1.8.27	岐阜新聞、中日新聞	
神輿渡御行列城下町戯かに 岩村で秋祭り	R1.10.6	中日新聞	
本殿が重文の恵那の武並神社 市消防と氏子総代ら連携訓練	R2.2.2	中日新聞	
長屋門移築3248万円 観光施設に再生整備	R2.3.3	毎日新聞	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>10月には重点地区で行われる岩村町秋祭り行事で、神輿渡御行列が重要伝統的建造物群保存地区である恵那市岩村町本通りを練り歩いた記事が掲載され、歴史的風致及び重点地区を広く知らしめた。</p> <p>2月には重点地区内にあり、国指定重要文化財である武並神社において、防火訓練が開催された記事が掲載され、防災意識及び文化財保護の意識の高揚が見られた。</p> <p>3月には市の歴史的建造物保存事業として長屋門を移築する計画とともに、明治天皇大井行在所と長屋門の概要を説明した記事が掲載され、歴史街道文化を学べる観光施設としての公開が予定されていることが周知された。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

恵那市制 15周年記念
 第35回 いわむら城址
薪能
 令和元年
8/24 土
 午後5時30分開始 (午後4時30分発場)
 岩村城藩主邸跡 (雨天 岩邑中学校体育館)
 TAKIGINOH
 座長「桐貴妃」三條 隆史 氏
 座長「仏師」 井上 威次郎 氏
 座長「野守」白頭 豊吉 清次郎 氏
 チケット定価表
 大人 3,000円
 小児 3,500円
 中学生 1,000円
 チケット取扱い所
 岐阜新聞社 0573-43-3257
 忠節文化センター 0573-26-5121
 岩村公民センター 0573-43-3222
 大友ビル 0570-02-9999
 ジェイ・エム・エス 0573-65-1777
 主催/いわむら城址薪能実行委員会
 後援/恵那市 恵那市教育委員会 恵那市歴史館 岩村町 岩村町教育委員会 岩村町観光協会 岩村町観光協会 岩村町観光協会 岩村町観光協会
 印刷/岩村町 岩村町観光協会 TEL. 0573-43-3231

8月に報道されたいわむら城址薪能のチラシ

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目
歴史的風致に対する市民意識の向上

計画に記載している内容
本市の歴史資源などを紹介するパンフレットを一層充実させ、各種イベントやシンポジウムの開催時などに配布する。また併せて、歴史文化を紹介する市のホームページの充実を図る。また、地域活動組織やNPO等と行政の共同により講演会の開催を行い、歴史的風致を活かしたまちづくりを進める。
企画段階から市民に参加を促し、市の文化財や地域に対する理解と愛着を増進させることにより意識の向上を図り、文化財の保存・活用、まちづくりに繋げていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和元年12月に行われた「恵那市市民意識調査」の中で、歴史・文化の現状と、過去1年間の地域のまちづくり活動等への参加について尋ねる設問があり、今後も継続的に結果を観察することで、歴史まちづくりの効果を経年的に把握する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

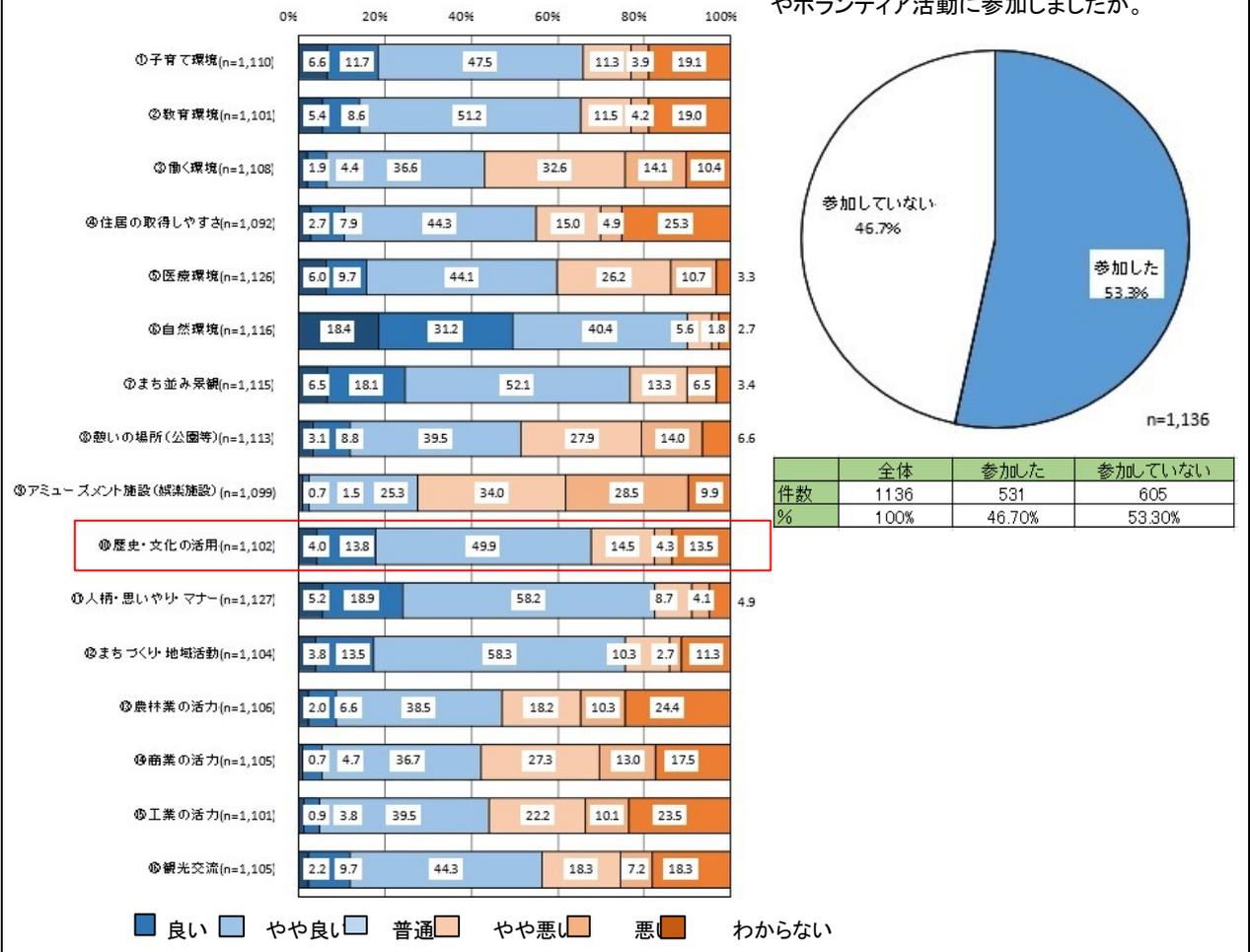
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○恵那市市民意識調査 問4「あなたは、今の恵那市の状態を、どのように感じていますか。」
歴史・文化の活用: 良い(4.0%) やや良い(13.8%)
地域の文化資源に愛着を感じる人が増えれば、「良い」「やや良い」の割合が増加すると推察される。

○恵那市市民意識調査 問31「あなたは、過去1年間に、地域の町づくり活動やボランティア活動に参加しましたか。」 参加した(53.3%)
参加した割合が増えれば、まちづくりに繋がる住民意識が高まっていることが推察される。

問4 あなたは、今の恵那市の状態を、どのように感じていますか。 問31 あなたは、過去1年間に、地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加しましたか。



法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和元年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:	令和2年5月21日(木) 書面による開催
<p>(コメントの概要: 事業項目による委員の意見を抜粋)</p> <p>◆町並み保存事業について 岩村が重伝建地区に選定されてから、市民の積極的な町づくりにより、歴史的風致を良好に見せていることは高く評価できる。課題は区内の高齢化、空き家が散見されるようになり、世代交代による保存地区への理解不足などが懸念されることである。この問題に官民一体となって情報共有し、解決に向けて取り組む必要がある。</p> <p>◆岩村城石垣修理事業について 岩村城への関心は高まっており、修理整備は今後も時間をかけて続ける必要がある。ボランティアによる清掃活動など、地元が愛着を持って風致の美化に取り組み、行政も支障木などの伐採をし景観と石垣保護を行っている。今後はさらに支障木を伐採しながら史跡全体の保護も継続してほしい。</p> <p>◆祭礼復興事業について 秋祭行事を維持していくのは大変である。少子高齢化も進む中で、岩村町内だけでなく市全体などで参加者を募りながら、行政も祭りの形態が変わらないように指導助言を行い継続していくとよい。</p> <p>◆歴史的町並み修景整備助成事業について 明治天皇大井行在所は、いかに来訪者や地元にも利活用してもらうかが重要である。また、来訪者と住民の交流の場を創成するべく、老朽化した貴重な建物をうまく修理保存し、地元の核になる施設として内外にPRしていく必要がある。</p> <p>◆ポケットパーク整備事業、中山道保存修景整備事業について 明治天皇大井行在所と一体となった公園は、人の交流を創造できる空間になるとよい。公園だけでなく中山道の整備や周辺環境の歴史的風致の保全も、今後検討したほうが良いと感じる。</p> <p>◆ふるさと文化普及継承事業について 小中学校のコミュニティスクール事業と連携し、さらに子供に伝統芸能の魅力を教えていくことが必要だと思う。ひし屋資料館や明治天皇大井行在所でも先人学習などを開き、市に貢献した郷土の偉人をPRしていくとよい。</p> <p>◆文化財の防災について 文化財周辺もふまえたガイドラインの作成や自動火災報知器の充実など、可能な限り有効な手段を模索しながら、専門家の指導助言もいただきさらに防災対策に努めてほしい。</p> <p>◆景観施策について 恵那市は良好な自然環境にも恵まれている地域だと思う。このような風致をさらにPRし定住人口が増加するとよい。</p> <p>◆報道や市民啓発について 文化財の防災活動を通して、貴重な文化財の存在を市内外に周知できる。今後も情報があれば動画配信ツール等も活用し積極的にPRしてほしい。市民意向調査を見ると、まだ歴史的風致に関する関心が薄いと感じる。 今後も大学等との連携を行ったり、広報などで計画を分かりやすく周知する機会を設けるなど、恵那市の歴史的風致の魅力を行政、市民ともに理解し、恵那市の歴史文化の深化と学習をとおした幅広い間接効果を上げる方策を検討する必要がある。</p>	